

Lecture 授業No.19 教科書P.35～

T.Q.「インドの新宗教成立とその背景とは？」

向出 研司：石川県立寺井高等学校
地歴公民科教諭

直前予習 T. A. キーワード確認

教科書 P.36

T.Q.「インドの新宗教成立とその背景とは？」

1. **バラモン教**
2. **クシャトリヤ**
3. **ヴァイシャ**
4. **ガウタマ=シッダールタ**
5. **ジャイナ教**

クリックで全て



今日の授業ラインナップ。

1. 「四大河文明」の一つインダス文明
2. バラモン教とカースト制度の成立
3. 社会変化と新宗教（仏教etc.）の成立

三章 古代インド・東南アジア

1 インド

① **インダス文明**...B.C.2300(2500?)、**ドラヴィダ人**による

(1) 高度都市 計画 ex. **モエンジョ=ダーロ** ※1①②

(2) 青銅器文明 cf. **インダス文字**(未解読) ※2

→B.C.1500、**アーリヤ人**(インド=ヨーロッパ語族)の侵入で滅亡

② **アーリヤ人社会**

T.Q.「インドの新宗教成立と

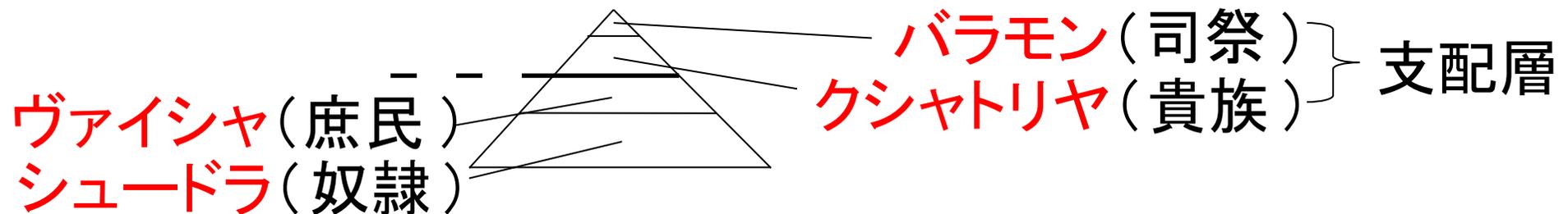
その背景とは？」教科書P.35～

(1) **バラモン教**...自然崇拝の多神教

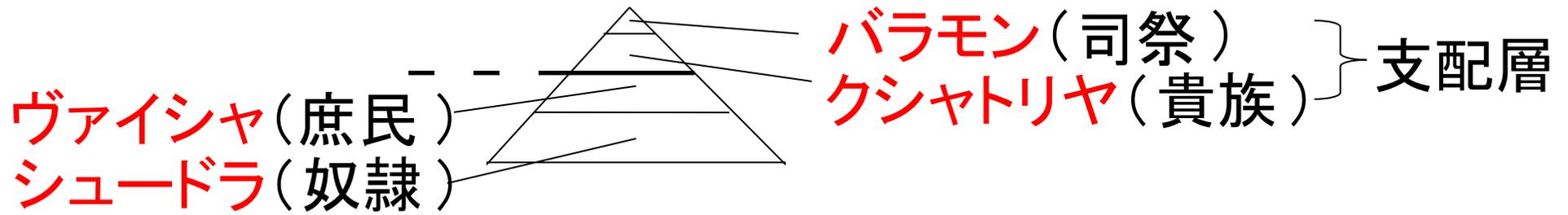
経典:『**ヴェーダ**』 ※3

(2) **カースト制度**(B.C.1000~)...4つのヴァルナ(身分)

→増加 ∵アーリヤ人の **ガンジス川流域**拡大



1/2枚目のスライドはここまで!



ここから

T.Q.「インドの新宗教成立と
その背景とは？」 教科書P.35～

(3) 社会変化

- B.C.1000 | 鉄器の普及 → 商工業がさかんに
∴ ヴァイシャの実力向上
- B.C.500 | マガダ国とコーサラ国の戦争
∴ クシャトリアの実力向上

(4) 新宗教の成立 (B.C.5C)

cf. バラモン教内部から **ウパニシャッド** 哲学発生

1 **仏教** (ガウタマ=シッダールタによる) ※4

... 諸行(しよぎょう)無常。慈悲(じひ)の心

2 **ジャイナ教** (ヴァルダマーナによる)

... 厳しい不殺生(せっしょう) ※5

※T. A. まとめスライドへ

最後のスライドはここまで!

※1①
NEXT

クリックで、
写真



モエンジョ=ダーロ遺跡の沐浴(もくよく)場

4000年以上も前のものとは思えないほど、大規模でしっかりと造られている。また周辺には蓋つきの排水溝などもあり、高度な都市文明であったことが分かる。

※1②
BACK

クリックで、
写真



高井戸

居住地区はレンガ積みの建物が整然と復元されている。ここでも排水設備が整っていて、各家にはダストシュートが付いている。隣接する「穀物倉」からは5千年前の炭化米も見つかっている。

※2

未解読のインダス文字(印章)

クリックで、
写真





インドラ神 ※3



アニメ映画「天空の城ラピュタ」に
登場する「インドラの矢」の場面
(5m53s)

クリックで、
バラモン教の神々の主神的な
存在である**インドラ神**
(ギリシア神話のオリンポス12神の
主神ゼウスと類似
cf. インド=ヨーロッパ語族)

インドラ神はバラモン教、ヒンドゥー教の神の名称
である。雷を操る神である。漢訳では帝釈天とされ
仏教に取り入れられる。特に『リグ=ヴェーダ』に
おいて中心的な神で、『ラーマヤナ』には天空の
神として出てくる。



しゃか 釈迦の一生 (前563頃～前483頃)*



母の右脇下
から生まれ
てんじょうてんが
「天上天下、
ゆいがとくそん
唯我独尊」
と述べたと
いわれる。

誕生 4月8日、シャカ族の王子ガウタマ=シッダールタ、ルンビニの園で誕生。

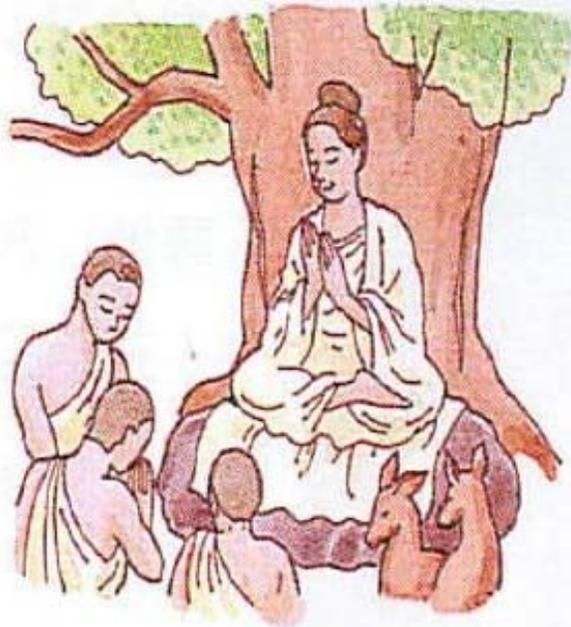


*諸説あり

29歳 愛馬カンタカに乗り、カピラ城を出て出家。



35歳 ブッダガヤの菩提樹の下で瞑想の末悟りを開き、ブッダとなる。



〇悟りを開いた後、サー
ルナート(鹿野苑)で初説
法。以後45年間布教の
旅を続ける。



80歳 2月15日、クシ
ナガラさの沙羅樹らじゆの下で
枕まくらを北に、右脇を下に
して永眠。(涅槃)

●釈迦に関する地名



3 ジャイナ教

●解説 ヴァルダマーナの開いたジャイナ教は、バラモン教の神々を否定する無神論に立つ。カースト制を否定し、おもにヴァイシャに広まった。動植物・大気・地・火・水に^{れいこん}靈魂の存在を認める。殺さない・嘘を言わない・盗まない・性行為をしない・所有しないの^{ごかい}五戒を守る^{げだつ}厳しい修行で解脱をめざす。修行者は小虫を殺さないよう^{ほうき}箒で地面を掃いて歩き、マスクをつけたりする。商人や金融業者に信者が多い。

クリックで、

極端な不殺生

※5



Lecture 授業No.19

T.Q.「インドの新宗教成立とその背景とは？」

コーサラ国とマガダ国の抗争によりクシャトリア(貴族・武士)が台頭した。さらに鉄器の普及に伴い商工業が活発化した。よってそれまでの反バラモンの動きに力もついてきて、ヴァルダマーナによるジャイナ教やガウタマ=シツダールタによる仏教、さらにバラモン教内部から、その形式主義を反省してウパニシャッド哲学が生まれた。